

同窓会報 2016



今年の3月、前同窓会事務局長の小原誠（12回生）さんが病気のため57歳で亡くなられた。三高の教員として、スポーツの指導や同窓会に情熱的に力を注いでいたもので、大変残念である。

同窓会は、第1回生が卒業した年の昭和41年8月に母校体育館で誕生した。当時、学生が多かったこともあり、お盆の帰省に合わせて総会を開いたとのことである。以来、事務局を個人宅に置くなどして、1回生の昆野武秀さん、高橋保さん、2回生の横澤忠さん、10回生の菅原章さんなどが要として尽力された。年1回の会報発行は同窓生とのコミュニケーションのツールとして、回生ごとに封筒の宛名書きをお願いしたり、発送作業などに多くの方々に協力をいただいたりした。これは、会員の住所把握とともに、何かあった際に、物心両面のサポートを期待するためのものでもあった。事務局がその力を発揮したのは、やはり2度に亘る野球部の甲子園出場の時であろう。特に、昭和48年の1回目のときは、学校が創立して11年目のうれしい出来事であった。決勝で盛岡商業に4対2で勝利。周囲からは寄付金が集まるのか心配の声もあった。事務局では、市内を16地区に区分して、名簿を頼りに募金活動を進め、その後、岩手・紫波郡にまで足を延ばしお願いに歩いたと聞いている。また、若い学校であるからと、出身校を超えて多くの市民・県民の方々から寄付をいただき、3回戦まで勝ち進むことができた。



同窓会長
泉山良男

事務局の 今昔

そして、40年が過ぎて、母校で勤務されていた1回生滝村民明さんの助言もあり、母校に事務局を置くようになり、現在のOB教職員による事務局が組織されるようになった。

戦後のベビーブームの高校生急増対策の一環として、三高と四高が誕生したわけであるが、今地方は人口減少に直面している。1学年8学級が7学級になり、2020年には6学級になることが既定されている。この影響は、同窓会活動にもマイナスとプラスの両面をもたらす。同窓会は、皆さんが在学中に納めた会費で運営されているが、母校創立50周年を機に、OBの皆さんにも寄付の形で支援をお願いしている。

これからも、事務局の方々、お手伝いいただく方々に感謝しながら、会員の皆さんとのコミュニケーションと絆が図られていくことを願っている。



校長
山形守平

三度目の 校歌

同窓会の皆様には、本校の教育活動にご理解を賜り、多大なるご協力・ご支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

和山博人校長先生の後を受けて19代目の校長として赴任いたしました。私は本校11回生であり、17代目の佐々木修一校長先生（6回生）に続いて2人目の同窓校長となります。母校のために全力を尽くす所存ですので、どうぞよろしく願いたします。

さて、入学した昭和48年は忘れもしない甲子園に初出場した年でした。部活動の関係で甲子園まで応援には行けなかったのですが、優勝が決まったときに県営球場で高らかに歌った校歌は生涯忘れることはありません。「さわやか旋風」を巻き起こし甲子園でも2回校歌が流れました。いつしか学校が「さわやか三高」と呼ばれるようになり、前よりも胸を張って学校生活を送った記憶があります。

続いて、昭和60年、この年に今度は教員として三高に赴任しました。岩手の採用試験になかなか受からず千葉県で5年間の武者修行(?)を経て、岩手で初任校が母校となりました。確か新任式の日だったと思います、壇上でエールを送られ、校歌を聞いたときはまさに鳥肌が立つと同時に責任の重さに緊張の身震いがしました。3年間担任を持たせていただきながら、あの緊張感はどこに行ったのかと思うような、若さだけが取り柄の教師生活でした。恥ずかしい思い出ばかりですが、教師としての礎を作ってもらった3年間でもありました。

そしてこの4月を迎えました。歳とともに涙腺が緩んできたためか、始業式や入学式での校歌の場面では、不覚に陥らないよう人知れず身構える自分かいることに気づきました。それと同時に、母校で生徒たちとともに校歌を熱唱できる自分は何て幸せ者だと感謝していますし、改めて責任の大きさを痛感しているところでもあります。

「随処為主」、「鴻鵠之志」という二つの校訓の下、生徒たちは文武不岐を掲げ、自主性を持ち、切磋琢磨しながら、何事にもエネルギーに取組んでおり、その姿から「さわやか三高」の校風が確実に受け継がれていることを実感しています。若い世代が輝くリーダーとして、さらには復興の担い手として、明るい希望の地図を描くためにも、同窓会の皆様の今後一層の絶大なご支援ご指導を頂きながら、後輩たちの背中をそっと押していくことができればと願っています。

山形 純菜 (48回生)



リオのジャパンハウスにて(本人は右端)

盛岡三高を巣立ってから約4年が経ちます。今回は私のような若い世代に同窓会報を書く機会を与えていただき感謝しております。一応文系出身ではありますが、文学は得意ではなく拙い文章になってしまうかもしれません。何かいいきっかけになればいいなと思い書かせていただくことにしました。

自分の高校生活を思い返せば一瞬で終わってしまった気がします。3年間過ごしている時は辛いことの方が多かった気がしましたが、過ぎてしまえば楽しかった思い出の方が頻繁に蘇ります。勉強は得意ではなく、何かに熱心に取り組むこともなく、そんな自分が嫌で悩んだ時期もありました。自分自身、親そして先生方と一番ぶつかり合った時期でもあります。正直いい子ではありませんでした。センター試験に失敗して行きたい大学は諦めました。そして高校3年間抱いていた夢を叶えるよりも東京に行きたいという夢の方を私は優先したのです。わがままを聞いてくれた親、先生には本当に感謝しています。そしてその決断をしたあの時の自分自身も讃えたいです。いろんな人の協力もあって、現在は東京の大学で楽しく過ごしています。数学、化学が苦手だから文系に進んだはずが、今は少し理数も絡んでいる栄養学の勉強をしています。3月には管理栄養士の国家試験があるので、高校3年生に戻った気分です。今度はしっかり勉学に励みたいと思っています。

東京に出て1年目は右も左もわからない毎日でした。そんな中挑戦してみた大学のミスコンテスト。運良くグランプリをいただき、小さい頃から心の中では考えていたモデルという夢も大学2年生で叶えることができました。ミスコンは端から見れば外見の美だけの戦いだと思うのですが、出ている本人たちはどう自分をアピールしようとか自分はどんなところが人と違うのだろうか、など意外とスペックやポテンシャルも必要なんです。私は大学1年生の時のミスコン、2年生の時のモデル活動を通して自分には誇れるものが少ないことに気付きました。そしてまた新たな夢が芽生えてきたことにも気付きました。このままで終わりたいくない、今度こそは高校の時とは違い、夢をちゃんと叶えたいと思いました。そこで挑戦したミス・インターナショナル日本大会。ファイナリストたちは世界大会を目指しているので、大学のミスコンとは雰囲気もモチベーションもスペックもはるかに異なりました。人前で水着を着てウォーキングなんてするの!?!と驚きも

ありましたが、挑戦したからには負けず嫌いの私が出てきて大会までボディメイキングやウォーキングなどひたすら練習しました。大会本番では「楽しく終わろう」が一番の目標でしたが、結果これまた運良くグランプリになり日本代表の肩書きを頂きました。これといって他の人よりスペックが高いわけではないのですが、大好きな盛岡さんさ踊りを水着で踊った(一番恥ずかしかったです。)のが勝因の一つかなと思っています。

日本代表になりもう1年が経とうとしています。時の流れとはこんなにも早いのかと実感しています。岩手のテレビ番組や新聞に大きく取り上げていただいたり、母校訪問もできたりと日本代表になって以前よりも地元岩手にたくさん帰ってこれることができました。また学生生活を続けながら約3ヶ月で全国31カ所を回るハードスケジュールをこなしたり、経済産業省を訪問したりと学生では経験できないこともたくさんしてきました。8月にはブラジルのリオデジャネイロに行き、海外メディアに向け日本と岩手のPRをしてきました。実は恥ずかしながら初めての海外でした。日本の治安の良さや食のありがたみを身をもって体験することができました。着物を着て仕事をしたのですが、こりゃ大変。着物姿はブラジルでは大人気でたくさんの方と一緒に写真を撮りました。こんなに地元の方と関われるチャンスはそうそうないと思い、覚えてたのポルトガル語で挨拶をすると、ブラジルの方は日本語で“ありがとうございます”と返してくれたり、少しではありますが異文化交流もできました。まだまだミスの活動について書きたいことは山ほどありますがこの辺にしておきます。

10月27日の世界大会まで約1ヶ月となりました。世界大会前には2週間ほど世界約70ヶ国のミスとの共同生活があります。ホスト国の代表として世界のミスに日本をもっとよく知ってもらいかつ日本を愛してくれるように努めたいです。そしてこれまで支えてくれた家族はもちろん、こんなに自由奔放で手のかかる生徒だったのに3年間いや今までも温かく見守ってくれている三高の先生方、以前と変わらずに付き合ってくれるたくさんの友人に成長した姿をお見せできるように頑張ります。いろんなことに追われていて結構ピンチなんですけど、そんな時こそチャンスだと思って、強い運を味方につけながら私らしく全力で駆け抜けたいと思います。人生一度きり楽しんだもん勝ちです。



- 東北選手権
▼男子
ダブルスカル
三上 剛・塩倉恒聖 準決勝敗退
▼女子
舵手付きクォドルプル
金崎琴音・鱈沢萌衣・照井綾香・岡本夏佳・齊藤綾乃 準決勝敗退

<文化部>

吹奏楽部

- 全日本吹奏楽コンクール岩手県大会
金賞(代表)
●全日本吹奏楽コンクール東北大会 銀賞

文芸部

- 平成28年度岩手県高校生文芸コンクール
【文芸誌部門】
最優秀賞 「黎」16号
【詩部門】
優秀賞 佐藤薫乃
入選 熊谷奈南
【児童文学部門】
入選 佐藤薫乃
【戯曲部門】
優秀賞 佐藤薫乃
【短歌部門】
入選 ※小泉愛恵 (文芸部以外の生徒)
※佐々木潤 (文芸部以外の生徒)
【俳句部門】
入選 佐藤薫乃
※四戸結子 (文芸部以外の生徒)
【随筆部門】
最優秀賞 岩崎麻里奈
優秀賞 佐藤薫乃・水野綾香
優良賞 佐藤薫乃・熊谷奈南
【文芸評論部門】
最優秀賞 佐藤薫乃

【小説部門】

- 最優秀賞 佐藤薫乃
優秀賞 水野綾香・熊谷奈南
岩崎麻里奈
中村玲菜
優良賞 佐藤薫乃
●岩手県高校生読書体験記コンクール
優秀賞 佐藤薫乃
佐藤薫乃
※佐々木響未 (文芸部以外の生徒)

書道部

- 第17回高校生国際美術展
奨励賞 佐藤由理・山口ほのか
佳作 谷藤春香
●第14回岩手県高等学校書道作品コンクール
奨励賞 竹花綾夏・久保琴里・松村萌香
山口ほのか・千葉彩輝
●第12回岩手日報高校書展
日報大賞 山口ほのか・久保琴里
角館奈央・松村萌香
優秀賞 伊山 琳・千葉彩輝
秀逸賞 佐藤由理・松原夏鈴
入選 竹花綾夏・伊藤玲杏
谷藤春香・中館真萌
渡辺紗矢佳

囲碁将棋部

- 第38回岩手県高等学校将棋大会
個人 B級4位 菊池 智
●第15回岩手県高文連将棋電王戦
個人 B級1位 菊池 智
個人 C級3位 山本凱也

<委員会>

視聴覚委員会

- 第63回NHK杯全国高校放送コンテスト
岩手県大会
テレビドキュメント部門
『光陰札の如し』優秀賞(全国大会出場)

多くの同窓生の皆様から、日々心温まるご声援を頂きありがとうございます。
私たち新体操部はお陰様で、今年の6月に行われた東北選手権において、三高として、また岩手県としても初の団体優勝を果たすことができました。これも、ひとえに同窓生の皆様のご支援、ご声援があってこそだと思っております。

現在、部員は1年生から3年生を合わせて5名しかおりません。全員が国体強化選手としても活動しており、数年前から、いわて国体新体操少年女子の監督を三高の外部コーチとして依頼し、国体の強化と三高の新体操部の強化を一本化して行っていました。その成果が実り、8月に島根県で行われたインターハイでも48チーム中17位と全国でも評価して頂くことができました。

今年の10月9、10日に行われる希望郷いわて国体では、新体操部は岩手県代表として出場してきます。盛岡三高の生徒としての誇りを胸に、今までの練習の成果を存分に発揮し、悔いの残らぬよう華麗に演技してほしいと思います。

現在、多くの部が活発に活動しております。今後とも母校、盛岡三高に変わらぬご支援ご声援のほどよろしくお願い致します。

新体操部 顧問
笠水上 ゆりえ
(45回生)



平成27年度 全国大会の報告

<運動部>

陸上競技部

- 全国高等学校総合体育大会
男子棒高跳 予選出場 都鳥未来也

体操部

- 全国高総体
個人総合38位 佐々木千沙希
(ボール36位 クラブ36位)
●わかやま国体 佐々木千沙希 出場

バスケットボール部

- 70回国民体育大会(和歌山国体)
県選抜として、高村愛実、八重樫一紗
が出場
1回戦 岩手 69-86 北海道

水泳部

- 全国高総体
個人男子
200m平泳ぎ 斉藤聖隆
100m平泳ぎ 斉藤聖隆

ボート部

- 全国高総体
女子シングルスカル
遠藤里央 準決勝敗退
●70回国民体育大会(和歌山国体)
女子シングルスカル
遠藤里央 準決勝敗退

スキー部

- 第65回全国高等学校スキー大会(インターハイ)
男子スラローム
DQ 柚澤周平
スペシャルジャンプ
第38位 工藤風悠
コンバインド 第19位 工藤風悠
●第71回国民体育大会冬季大会
スペシャルジャンプ 第20位 工藤風悠
コンバインド 第31位 工藤風悠
●JOCジュニアオリンピック全日本ジュニアスキー選手権(ノルディック種目)
スペシャルジャンプ 第25位 工藤風悠
コンバインド 第12位 工藤風悠

スケート同好会

- 第65回全国高等学校スケート競技選手権大会
男子 1000m 第29位 山口知己
1500m 第20位 山口知己
女子 500m 第48位 鈴木桃衣
1000m 第53位 鈴木桃衣
●第71回国民体育大会冬季大会
男子 1500m 第4位 山口知己
女子 2000m R 第7位 鈴木桃衣
●JOCジュニアオリンピックカップ第39回全日本ジュニアスピードスケート選手権大会
男子 1000m 第56位 山口知己
1500m 第60位 山口知己

<文化部>

音楽部

- 第39回全国高等学校総合文化祭 出場

文芸部

- 第30回全国高等学校文芸コンクール
【文芸誌部門】 最優秀賞 黎第15号
【小説部門】 優秀賞 三浦真帆
【短歌部門】 優秀賞 佐藤薫乃
【随筆部門】 入選 熊谷奈南
●第6回富士正晴全国高等学校文芸誌賞(文芸誌甲子園)
優秀賞(2位相当) 黎15号

<委員会>

視聴覚委員会

- 第62回NHK杯全国高校放送コンテスト
アナウンス部門
櫻 茜理 入選(11~60位相当)
制作テレビドラマ部門『アナログ系男子』
準々決勝まで(21位以下)
●全国高等学校総合文化祭放送部門
アナウンス部門
櫻 茜理 優秀賞(最高賞)
ビデオメッセージ部門
『生き方〜20のレシビ〜』 出場

SSH関連(課題研究グループ等)

- 平成27年度SSH全国研究発表大会出場
(数学班 テーマ 「魔方陣」)

2016

部活動 報告

平成28年度

<運動部>

陸上競技部

●高総体

▼男子

1500m 第2位 大山一樹 (東北大会出場)
三段跳 第6位 金井 琳 (東北大会出場)
▼女子
走高跳 第5位 葛巻美波 (東北大会出場)
走幅跳 第6位 高橋三冬 (東北大会出場)
やり投 第6位 黒澤果令 (東北大会出場)

新体操部

●高総体

個人総合 (3位まで東北大会出場)
第1位 小田嶋萌生<インターハイ出場>
第2位 柳田はたる
第3位 藤田日和
種目別クラブ
第1位 小田嶋萌生
第2位 柳田はたる
第3位 齊藤陽菜
種目別リボン
第1位 柳田はたる
第2位 小田嶋萌生
第3位 藤田日和
団体 (2位まで東北大会出場)
第1位 盛岡第三高校<インターハイ出場>
●東北高等学校新体操選手権大会
団体
第1位 盛岡第三高校 (岩手県初優勝)

バスケットボール部

●高総体

▼男子

盛岡三 75-78 盛岡工 ベスト8
▼女子
盛岡三 50-55 福 岡 ベスト8

バレーボール部

●高総体

▼男子

盛岡三 0-2 盛岡南 ベスト8
※優秀選手 谷地祥綺
▼女子
盛岡三 0-2 一関修紅 ベスト8
※優秀選手 伊藤真子

卓球部

●高総体

▼男子

団体
1回戦敗退
▼女子
団体
2回戦敗退

バドミントン部

●高総体

▼男子

団体
3回戦 対花北青雲 0-3 ベスト16
▼女子
団体
準々決勝 対一関第二 2-3 ベスト8
個人ダブルス
佐藤紫珠乃・渡邊美穂組 ベスト8

弓道部

●高総体

▼男子 団体 第3位



2016
希望郷

いわて国体



出場選手

水泳 (少年男子) 3年 斉藤 聖隆 バスケットボール (少年女子)
新体操 (少年女子) 3年 小田嶋萌生 3年 八重樫一紗
斉藤 陽菜 中村 まこ
2年 藤田 日和 高村 愛実
1年 柳田はたる ポート (少年女子) 3年 鱈澤 萌衣
小川 葉奈

決勝 盛岡三 56-0 盛岡一
A2ブロック昇格

ハンドボール部

●高総体

▼男子

1回戦敗退

▼女子

1回戦敗退

ソフトテニス部

●高総体

▼男子

団体
準々決勝 盛岡三 0-2 盛岡工 ベスト8
個人
伊五澤樹・工藤玄己 ベスト16
▼女子
団体
3回戦 盛岡三 0-2 金ヶ崎 ベスト16

テニス部

●高総体

▼男子

団体戦
決勝 盛岡三 0-2 岩手 第2位
(東北大会出場)

個人戦シングルス
福士海渡・藤原大希
ベスト8 (東北大会出場)

個人戦ダブルス
福士海渡・藤原大希
第3位 (東北大会出場)
安ヶ平陸斗・杉本匡紀 1回戦敗退

▼女子

団体戦
準決勝 盛岡三 1-2 白百合 第3位

個人戦シングルス
吉水春菜 ベスト8 (東北大会出場)
城内佳奈江・関亜矢香
ベスト16

個人戦ダブルス
城内佳奈江・関亜矢香
佐々木真子・長井芽衣 ベスト8
佐久山希・野原 唯 1回戦敗退
ベスト16

●第57回東北高等学校テニス選手権大会

▼男子

団体
2回戦 盛岡三 0-2 東北学院(宮城)
ベスト8

シングルス
福士海渡・藤原大希 1回戦敗退

ダブルス
福士海渡・藤原大希 2回戦敗退
ベスト8

▼女子

シングルス 吉水春菜 1回戦敗退

ボート部

●高総体

▼男子

シングルスカル
岩崎竜士・佐々木海・柚澤周平 準決勝敗退
ダブルスカル
三上 剛・塩倉恒聖 第3位 (東北大会出場)
後藤直人・高橋春臣 準決勝敗退
齊藤悠斗・藤岡雄大 準決勝敗退
舵手付きクォドルプル
堀江 森・今井佑大・高田悠太郎
齊藤諒人・鎌田太郎 第4位

▼女子

シングルスカル
菊池真乃・兼田倅帆 準決勝敗退
舵手付きクォドルプル
金崎琴音・鱈澤萌衣・照井綾香・岡本
夏佳・齊藤綾乃 第2位 (東北大会出場)

▼女子 団体 ベスト16

●東北選手権大会

▼男子

団体 第3位

▼女子

団体 ベスト16

柔道部

●高総体

▼男子

団体(盛岡商との合同チーム) 予選リーグ2敗

空手道

●高総体

▼男子

個人組手 飛田 龍 ベスト16

▼女子

個人組手 格矢夏紀 ベスト16

剣道部

●高総体

▼男子

団体 予選リーグ敗退

▼女子

団体 予選リーグ敗退

水泳部

●高総体 (東北大会出場者)

▼男子

団体
400mメドレーリレー 3位
今野隆哉・斉藤聖隆・上澤田宇宙・関田
光陽

800mリレー 4位
斉藤聖隆・高嶋龍太郎・田中陽紀・遠藤
祐太郎

400mリレー 6位
今野隆哉・斉藤聖隆・上澤田宇宙・関田
光陽

個人
100m平泳ぎ 1位 斉藤聖隆 大会新記録
200m平泳ぎ 1位 斉藤聖隆 大会新記録
200m背泳ぎ 4位 今野隆哉
200m自由形 4位 上澤田宇宙
1500m自由形 4位 高嶋龍太郎
400m自由形 7位 高嶋龍太郎

▼女子
100mバタフライ 2位 川崎誌永里
100m背泳ぎ 3位 村上碧依
200m背泳ぎ 3位 村上碧依

200mバタフライ 3位 川崎誌永里
200m個人メドレー 4位 嶋田見月

●新人大会 (東北大会出場者)
▼男子

200m自由形 3位 上澤田宇宙
50m自由形 3位 関田光陽

200m個人メドレー 4位 遠藤祐太郎

▼女子
100m背泳ぎ 1位 村上碧依
200m背泳ぎ 2位 村上碧依

100mバタフライ 2位 川崎誌永里
50m自由形 3位 川崎誌永里

野球部

●第98回全国高等学校

野球選手権岩手大会

4回戦 盛岡三 1-4

一関学院

サッカー部

●高総体

4回戦 盛岡三 0-3 盛岡中央 ベスト8

ラグビー部

●高総体

Bブロック



学校ホームページお知らせ 生徒の活動等詳しくはHPをご覧ください。 <http://www2.iwate-ed.jp/mo3-h/>

母校支援 寄付のお礼

平成25年度より会員の皆様にあらたに寄付のお願いをし、皆様より多大なご厚情を賜り誠にありがとうございます。今年度、皆様よりいただいた寄付の中から50万円を母校の春季合宿費用に援助させていただきました。おかげさまで本年の高総体では新体操部・水泳部のインターハイ出場を始め各部が、上位入賞の活躍をしてもらうことができました。これもひとえに皆様からのご支援の賜と存じます。今後も引き続き、次期周年事業にかかる資金の計画的な積立を行いながら、母校生徒の学習環境の充実に向けた支援について本会としてより一層の協力を図りたい所存であります。本趣旨に対し何分のご配慮を賜り、会員の皆様にご協力いただければ幸いです。末筆ながら、会員の皆様のご健勝を心からお祈り申し上げます。

同窓会会長 泉山 良男

同窓会役員名簿

会 長	泉 山 良 男	2 回 生
副 会 長	滝 村 民 明	1 回 生
	山 内 隆 文	5 回 生
	平 井 滋	8 回 生
理 事	藤 原 誠 司	13 回 生
	藤 田 光 孝	3 回 生
	増 澤 ひ かり	3 回 生
	小 綿 明	7 回 生
	村 田 達 彦	13 回 生
	及 川 正 樹	15 回 生
	伊 勢 志 穂	16 回 生
	佐 藤 直	16 回 生
	小笠原 啓 助	21 回 生
	袴 田 恭 司	24 回 生
	馬 場 暁 彦	24 回 生
	深 田 真 弓	40 回 生
関東支部長	工 藤 康 寛	9 回 生
監 事	横 澤 忠 徳	2 回 生
	藤 原 誠	9 回 生
事務局長	熊 谷 和 幸	23 回 生
事務局次長	柴 田 護	25 回 生
事務局員	蒲 生 秀 磨	19 回 生
	辺 明 進	31 回 生
	五日市 弘 誉	32 回 生
	藤 澤 仁 美	38 回 生
	笠水上 ゆりえ	45 回 生
校 長	山 形 守 平	11 回 生
副 校 長	清 川 義 彦	17 回 生

盛岡三高同窓会 ホームページ のお知らせ

事務局からの速報性・機動性のある情報提供、同窓生相互の情報交換の場として、同窓会の独立したホームページが開設されています。今後の本格的な展開に向けて少しずつ情報をアップしていきます。

同窓会のWebサイト <http://www.morioka-sanko.jp>

今後、メールマガジン等の配信も予定しておりますので、皆様の携帯電話・パソコンのメールアドレス登録をお願いいたします。また、ホームページについてのご意見・ご要望等もお寄せいただければ幸いです。

メールアドレス登録、一般会員の連絡用メールアドレス

abc@morioka-sanko.jp

※メールには「何回生もしくは何年卒の誰々（旧姓も忘れずに）」の記入を忘れずお願いいたします。

なお、取得した個人情報を本人の同意なしに同窓会関係の連絡以外の目的で使用したり、第三者に提供したりすることはありません。

事務局より

日頃より、会員の皆様には同窓会活動に対しご理解とご支援をいただきありがとうございます。

今回の同窓会報も、名簿管理をしている株式会社サラトの住所データ（9月11日更新データ）を利用し、約13,000人の同窓生の皆様に発送しております。本校に転居等の連絡があった場合、サラトに連絡し常に情報を更新しておりますが、転居などにより、「宛先不明」で戻ってくる会報も多くあります。住所の変更や個人情報の削除などにつきましては、事務局にご連絡いただければ幸いです。

今年度も、同窓生の皆様のますますのご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



岩手県立盛岡第三高等学校

鵬同窓会総会懇親会

平成28年 **11月13日** (日)

総会 ■ 16:00 懇親会 ■ 17:00

ベルヴィ盛岡

(昨年と会場が違います)

〒020-0866 盛岡市本宮 6-8-22

TEL 019-656-4165

会費 3,000円 (学生2,000円)

当日、受付で申し受けます。

- お申し込み等は **11月4日(金)** までに電話、電子メール、FAXにて事務局へご連絡下さい。
- 盛岡駅から会場までの送迎を希望される方は参加申し込みとともに事務局へご連絡下さい。後日、事務局より連絡いたします。
- 懇親会ではベルヴィ盛岡自慢の料理をお楽しみいただけます。クラス会や部活動のOB会の1次会としてもご利用下さい。お友達同士、お誘い合わせの上、多数のご参加をお待ちしております。

鵬同窓会事務局

盛岡第三高等学校内

〒020-0114 盛岡市高松 4-17-16

TEL 019-661-1735 FAX 019-661-1221

メールアドレス mo3-d@iwate-ed.jp

▼ 8回生の集い



森田俊輔先生、高橋薫先生、菊池進先生、カタルから戻った同期生1人を含む仲間が集まり、9月17日にホテル・メトロポリタンで同期会の開催となりました。既に世を去った仲間、水害で被災された皆様への黙祷から会を始めました。思い起こせば、私たちが入学したのは、前回の岩手国体の年(S.45)でした。国体開会式の予行やマスゲームにも動員されたように思います。舗装したばかりの校門前の道路を当時の皇太子ご夫妻の通過なされたこと、四十四田ダムからの10kmロードレース、初夏に香るニセアカシア(?)、

OB会だより

▼ 関東支部

「盛岡三高 鵬同窓会関東支部」をご紹介します。

鵬同窓会関東支部は関東在住の有志によって運営されています。6月19日(日)には、この春、進学や就職、転勤などで関東方面へ来られた方の「新人歓迎会」を開きました。新卒者12名を含む総勢35名のとても楽しいランチ会となりました。関東支部では様々な部会(ゴルフ、音楽など)が自由に活動し、「秋のランチ会」などのイベントも開催しています。また毎年恒例の総会・懇親会の日程が決まり次第、三高のホームページやFacebookなどでお知らせいたします。今年もみなさんと盛り上がりましょう！なお、各部会や総会・懇親会への参加は、関東以外にお住まいの方でもご参加いただけます。



盛岡三高鵬同窓会関東支部ホームページオフィシャルサイト:

<http://moriokasankou.com/>

事務局: 山崎 (5回生) TEL 090 3130 7716 / fine@netjoy.ne.jp

安保 (14回生) TEL 090-9314-5290 / a-string@a-string.com

「鵬同総会関東支部」への登録の仕方

Mail = ootori_kantou@a-string.com に空メールを送ってください。折り返し、確認のメールが届きます。

または、Facebook「盛岡三高 鵬同窓会(参加者のみ公開)」グループに参加申請してください。

管理者 安保亮(あんぼあきら・14回生)

TEL=042-513-7250 携帯=090-9314-5290



音楽部会



ゴルフ部会



秋のランチ会



2016年2月13日、関東支部総会・懇親会。116名の参加でした。



6月19日、新人歓迎会、総勢35名。グランドパレス1Fカトリックにて

真冬の格技場で汗を流した柔道の授業、早弁に恰好だった部室、すてきな(だった)彼や彼女の近況、等々。そんな思いを尽きる事なく語り合う同期会でした。みな等しく還暦を過ぎ、いつまでも若々しい恩師の皆さんと見分けのつきにくくなった8回生ですが、いつまでも絶える事のない交流を続けていきたいと思っています。(文責: 福島)